

わか

(社)京都府青少年育成協会

京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2
(京都府庁西別館3F)

TEL 075(417)0602 FAX 075(417)0603

メールアドレス kpyda@cello.ocn.ne.jp

第115号



も の 京 都

新年のごあいさつ

社団法人 京都府青少年育成協会

会長 津 守 俊 一



新年あけましておめでとございます。

昨年一年間も、社会の変動は激しく、人々の日常生活は決して安心・安定していたとは言えませんでした。それが一年を象徴する漢字として「変」の字が選ばれた理由かもしれません。アメリカの次期大統領が唱えた「チェンジ＝変化」の意味なら、未来に希望を托すこともできましようが、日本を襲う「変事」の意味だとしたら、あまり明るい展開を期待するわけにはいかないように思います。

年末に放映されたNHKの「篤姫」で、主人公が「人の幸せは権力や地位・財産ではなく、あたたかな家族に囲まれてくらすことだ」と言ったのは、この現在の日本の社会状況に対する精一杯の反省と願いが込められていたとったのは、私一人ではありません。

経済的に苦しい状態は、確かに生活上大変な困難を来すのは事実ですが、それだけで、生活だけでなくモラルも人生の目標すらも総崩れになってしまうような我が国の状態は、人間や社会の奥行きが浅薄になっていくことを如実に感じさせます。

考えてみれば、五・六十年程前の日本は、冬の夜にはコツコツと近づいてくる足音が聞こえ、風に香りがあり、水面はきらめき、月や星、うなじを過ぎる寒風さえ、日常生活の中に生きていました。車やテレビやさまざまな機械の発する音や匂いで、いつの間にか、それら自然の息吹が窒息させられた頃より、大人たちは、忘れてはいけないものを忘れていったように思います。

私も青少年健全育成に携わる立場からは、青少年よ頑張れと励まし続けることは不可欠ではありますが、それ以上に、大人たちが健全・正常になることが必要なのではないかと思われてなりません。

結びにあたり、皆様方の一層の御支援、御協力をお願い申し上げますとともに、ますますの御健勝と御多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

■全国青少年健全育成強調月間の取組み(府青少年育成協会・京丹波町青少年育成協会)	2~3
■青少年健全育成功労者等 表彰等	4
■「青少年すこやかフォーラム」・「チーム絆(きずな)」・「青少年健全育成条例の改正」	5
■第30回「少年の主張」京都府大会報告	6~8
■会員団体紹介(宇治市青少年健全育成協議会)	9
■会員団体紹介(舞鶴子ども育成支援協会)	10
■第14回明るい家庭づくり絵画展報告	11
■第6回「俳句・短歌で人とのふれあいを」報告	12
■会員団体紹介(京都府保護司会連合会)	13
■会員団体紹介(京都YMCA)	14
■Information	15
■京都府立青少年海洋センター(マリーニア)	16

第115号 目次

青少年の健やかな成長を見守り、支援する明るく健全な地域社会づくり

「全国青少年健全育成強調月間」の取組

京丹波町青少年育成協会

①啓発活動

毎月発行の生涯学習通信「TOMORROW W」に自作啓発文面を掲載し、町民全戸配布。6日、育成協会幹事・理事・教育委員会が町内の駅・スーパー等5ヶ所で、京都府青少年育成協会作成のチラシ（京丹波町青少年育成協会名入り）啓発物品を配布する活動に取り組む。

②日常の活動の強化

毎月1日の「声かけあいさつ運動」と合わせて、月間最後の1週間は児童・生徒が安全な通学ができるよう育成協会役員と各区の青少年育成委員、町内小中学校職員により、朝、町内各小・中学校の通学路に立ち、安全を見守る。「地域の子どもは、地域で育てる」のスローガンの実践強化を図る。

③命・人権の大切さを訴える

人権啓発推進協議会が主催する「京丹波・町民人権研修会」において、ネット社会の問題、コミュニケーション力低下の問題を取り上げ、現代社会の問題について学習を進めた。【月間以外の主な活動】「声かけあいさつ運動」「子育て講演会」「夏まつりパトロール」「クリスマス映画会」等々を取組む。

◆協会の組織と方針◆

平成17年10月丹波・瑞穂・和知の3町合併により「京丹波町」が誕生。合併を機に旧町それぞれをよさを引継ぐ形で、青少年育成に係わる組織・取組を統合し、平成18年10月20日に「京丹波町青少年育成協会」を設立しました。

【京丹波町青少年育成協会 活動方針】

- (1) 地域社会づくり
 - 「声かけ・あいさつ運動」の推進
 - 青少年の社会参加・体験の機会づくりの拡充
- (2) 明るい家庭づくり
 - 「親子の語りあい・ふれあいの場」をつくる。
 - 青少年の発するサインを受け止められる家庭づくり
- (3) 安心・安全の町づくり
 - 地域が一体となり青少年を守る取組を推進し、関係機関との連携強化に努める。
 - 啓発看板の設置等により、未然に事故・事件等危険を知らせる取組に努める。



京丹波町青少年育成協会 組織図



全国青少年健全育成強調月間活動報告

～守ろう子どもの安心・安全 高めよう子どもの人とつながる力～

11月

啓発 チラシ



11月は「全国青少年健全育成強調月間」です。育成協会では、月間を機に改めて青少年を取り巻く環境について共に考え、府民一丸となった青少年健全育成の取組を進めるために、京都市内4ヶ所の主要ターミナルにおいて、府内青少年育成団体や青少年に関係する行政機関等と連携して街頭啓発活動を実施しました。

共に活動した団体

- ・社会環境浄化京都ネットワーク
- ・京都ボランティア協会
- ・子どもに残せる社会をつくる会
- ・京都府更生保護女性連盟
- ・京都市地域女性連合会
- ・(財)京都こども文化会館
- ・NPO法人 洛西文化ネットワーク
- ・京都府教育委員会 社会教育課
- ・京都府青少年課

実施日	実施場所
11月 4日(火)	J R京都駅駅前広場
11月11日(火)	四条大宮交差点
11月18日(火)	J R山科駅前
11月25日(火)	阪急桂駅

御協力ありがとうございました。

1月から3月におきましても、引き続き啓発活動を実施しますので、御協力をお願いします。



開催日時 平成21年1月31日(土)

午後1時から午後6時まで

開催場所 ウィングス京都

(京都市中京区東洞院通六角下ル御射山町262)

定員 フォーラム280名(予約制)



青少年すこやかフォーラム 「脱ひきこもり」 その勇氣、皆で支えよう

フォーラム 2階 イベントホール(予約制) 13:00-17:00

■ひきこもり経験者による演劇

「折り紙気分」(フリースクール・寺子屋みらいの会)

■基調講演「ひきこもり～一歩の勇氣～」

山根 寛 氏(京都大学大学院医学研究科教授、市民学習塾「拾円塾」主宰、日本作業療法士協会副会長)

■パネルディスカッション「脱ひきこもり」その勇氣、皆で支えよう

ひきこもり経験者による問題提起「ひきこもりだった、僕から」

【教育】山本一成 氏(京都府立朱雀高等学校(通信制)副校長)

元京都府総合教育センター教育相談部長。定時制・通信制教育の現場で、不登校からの学び直し等を支援

【保険福祉】曾我和博 氏(京都府ひきこもり相談支援センター 相談員)

臨床心理士、精神保健福祉士。ひきこもりの多様性(神経症や精神疾患、発達障害など)にも幅広く対応

【就労・雇用】田中稔 氏(株式会社タナカテック 代表取締役)

ひきこもり支援「職親」事業所として就労体験を受け入れるほか、雇用を通じた人材育成の重要性を提唱

【地域力】福島美枝子 氏(NPO法人恒河沙母親の会 理事長)

地域住民が交流する居場所づくりや、地元商店と連携した情報誌づくりなど、地域の総力で青少年を育成

■ひきこもり経験者によるギターライブ

「大丈夫～あなたを信じて～」 たなか きょう氏

特設コーナー 3階 京都市中京青少年活動センター大会議室(入場自由)

17:00～18:00 知って帰って！ひきこもり民間支援団体合同説明・相談会

申込方法

参加者氏名・連絡先を添えて、平成21年1月26日(月)までに、右記まで申込(定員に余裕がある場合は、当日受付も実施)

京都府府民生活部青少年課

TEL:075-414-4304 FAX:075-414-4303

E-mail:seisho@pref.kyoto.lg.jp

「チーム絆(きずな)」

「チーム絆(きずな)」は、主に義務教育終了後から20歳未満のひきこもり初期段階の青少年を対象に訪問・相談を行い、必要とする支援について適切な支援機関を紹介することなどを通じて、ひきこもり初期段階の青少年の社会的自立を支援します。

相談、お問い合わせは

(京都府青少年課)

チーム絆(きずな) サポートダイヤル (075)414-4304

チーム絆(きずな) サポートメール seisho@pref.kyoto.lg.jp



メンバーは、元義理教師(1名)、臨床心理士(1名)と、青少年課職員です。

詳しくは「ひきこもり支援情報ポータルサイト」を御覧ください。 http://www.kyoto-hikikomori-net.jp/

～青少年健全育成条例の改正について～

最近、出会い喫茶を利用した青少年が児童買春等の性的被害に遭う犯罪が発生しています。そこで、出会い喫茶等営業者に対し青少年の入場制限等の義務を課すことを内容とする「青少年の健全な育成に関する条例」の一部改正条例が11月13日から施行されました。主な改正内容は、次のとおりとなっています。

(1) 営業禁止区域の設定

学校や図書館、児童福祉施設などの周囲200メートルの区域内と、住居系の用途地域での営業を禁止

(2) 入場・従事制限

18歳未満の青少年を店に入れたり、働かせたりすることを禁止

(3) 罰則等

条例違反に対する営業停止命令や罰則を規定

詳しくは京都府のホームページをご覧ください。 http://www.pref.kyoto.jp/seisho/

平成20年度 京都府青少年健全育成功労者等表彰される

青少年の健全な育成に多大な貢献のあった個人・団体、他の模範となる活動を行った青少年や団体の功績をたたえ、平成20年12月24日(水) 京都府公館 レセプションホールにおいて、青少年健全育成功労者等知事表彰が行われ、併せて青少年育成国民会議会長表彰等の伝達も行われました。



表彰を受けられた方々(敬称略/50音順)

青少年育成部門 個人(17人)

- 上野 陽子 舞鶴東地区更生保護女性会
大釜 加代子 福知山市少年補導委員連絡協議会
葛城 美保子 (社)働く少年をたたえる会
迫田 直行 舞鶴子ども育成支援協会
島 浩之 左京少年消防クラブ
末吉 央伯 日本ボーイスカウト京都連盟
隅山 國夫 スポーツ少年団下山ストロングス
田中 公郎 日本ボーイスカウト京都連盟
中川 喜代一 京都府スポーツ少年団
西岡 義郎 京都YMCA
西村 律子 綾部児童合唱団
福知 和子 宇治市青少年健全育成協議会
堀 一行 京都YMCA
宮本 功 京都府スポーツ少年団
村井 信夫 京都市少年補導委員会
山笠 由利子 (社)ガールスカウト日本連盟京都府支部
和田 淳司 京都・祇園祭ボランティア21

青少年部門 個人(3名)

- 粟津 拓馬 京都市少年補導委員会
川上 理江 龍谷大学
平井 恵理子 五条少年補導委員会

青少年部門 団体(4団体)

- 京都外国語大学体育会
同志社ワーキングコーラス
日本ボーイスカウト舞鶴第3団
Picture Books for Cambodian Children

国民会議会長表彰

青少年指導者の部

- 小島 嘉朗 京都府スポーツ少年団
柳澤 傳 日本ボーイスカウト京都連盟

青少年団体・グループの部

- 日本ボーイスカウト京都第85団

青少年育成部門 団体(4団体)

- 川端少年補導委員会聖護院支部
城陽市スポーツ少年団
城陽市青少年健全育成市民会議深谷校区会議
相楽青少年補導委員会



「おはよう」というひと言も、未成年者への喫煙防止活動です。

未成年者の喫煙は、大人一人ひとりが自覚し、社会全体で取り組む問題です。

JTの活動

私たちJTも全国各地で「未成年者喫煙防止協議会」の開催や「啓発キャンペーン」の実施など、地域に密着した活動に取り組んでいます。

未成年者の喫煙は法律で禁じられています。

20歳になるまで たばこは吸わせない。 NO! UNDER 20

京都府知事賞

「十二年と私の名前」
寺坂 晴香 福知山市立桃映中学校3年

京都府教育委員会教育長賞

「自分の生き方」
田村 百絵 亀岡市立育親中学校3年

京都府青少年育成協会会長賞

「感謝の気持ちをもって」
大槻 武史 舞鶴市立白糸中学校3年

京都府PTA協議会会長賞

「命の大切さ」
豊福 祐美 京都府立洛北高等学校附属中学校2年

京都市PTA連絡協議会会長賞

「人と人との助け合い」
南 栞奈 京都光華中学校3年

京都府公立中学校長会会長賞

「言葉の素晴らしさ」
中藤 りん 南丹市立美山中学校3年

京都新聞社賞

「祖父母の自家製食品から考えたこと」
弓削 伸宏 南丹市立美山中学校3年

KBS京都賞

「新しい自分との出会い」
森島 優希 宮津市立養老中学校3年

京都府青少年育成協会会長奨励賞

「ホテルを通じて見た環境破壊」
山本 涼加 京都市立高麗中学校2年

「心からのありがとう」
早田 結花 南丹市立園部中学校3年

「気持ち悪いなんて言わせない」
小川智奈美 京都府立洛北高等学校附属中学校1年

「ほたるの住める川に」
藤田 朋美 木津川市立山城中学校3年

「輝き」
金榮 葵 木津川市立山城中学校2年

「つながり」
田中さや香 京丹後市立橘中学校2年

「一番大切なこと」
関口 依子 京都府立洛北高等学校附属中学校1年

審査結果

わたしの主張



[審査委員の方々] (五十音順◎は委員長)

- 井上富三子 (社)ガールスカウト日本連盟京都府支部支部長
- 栗田 澄子 京都府連合婦人会副会長
- 久次米真二 京都府PTA協議会会長
- 荒賀 正巳 京都府民労働部青少年課長
- 田中 太郎 京都府教育庁学校教育課総括指導主事
- 津守 俊一 (社)京都府青少年育成協会会長
- 寺石 浩隆 京都市PTA連絡協議会会長
- 丸毛 静雄 京都新聞社論説副委員
- 牧崎 幸夫 京都府公立中学校長会会長
- ◎宮本 英樹 (株)京都放送報道グループ部長
- 尾上小百合 第25回少年の主張知事賞受賞者

なが——い、おつきあい。

良かったと言える人生。優しい気持ちになれる人生。自分らしく生きる人生。
京都銀行は、人生のさまざまなチャンスで、気さくにサポートする飾らない銀行です。
どうぞ、なが——い、おつきあいを。



飾らない銀行
京都銀行
http://www.kyotobank.co.jp/

第30回「少年の主張」

京都府大会

開催結果



2008

平成20年9月23日(祝)、
京都こども文化会館「大ホール」にて、少年の主張京都府大会
～わたしの主張2008～を開催しました。
(主催/京都府青少年育成協会・京都府PTA協議会・京都市PTA連絡協議会)

■作品募集■

6月に、府内各中学校等に応募を呼びかけたところ、30校298編の作文が寄せられました。

■審査■

株式会社京都放送報道グループ部長の宮本英樹氏を審査委員長に、当協会の津守会長他計7名による事前審査により、応募作文298編から大会発表者15名を選出しました。

■大会当日■

大会は、日本ボーイスカウト京都連盟の清水壮一郎くん(中学2年生)、名倉礼奈さん(中学2年生)の司会により進行了。作文部門では15名の主張発表が行われ、パフォーマンス部門では2グループ・個人の発表を行いました。

なお、作文部門において厳正な審査の結果、京都府知事賞には、「十二年と私の名前」について主張した、福知山市立桃映中学校3年の寺坂晴香さんが選ばれました。

寺坂さんの主張は、11月に開催された全国大会に推薦し、青少年育成国民会議会長より努力賞を授与されました。



会員団体紹介

宇治市青少年健全育成協議会

宇治市青少年健全育成協議会は昭和53年11月に発足以来今日まで、ひたすら青少年の健やかな成長を願い、地域に根ざした数々の活動を展開しています。

しかし、昨今の青少年をめぐる状況は、ナイフ等を利用した凶悪事件をはじめ薬物乱用、インターネット・Eメールを利用し犯罪が凶悪化とともに表からは見えにくい潜在化した事象が増えてきています。

こうした問題は、大人社会の反映でもあり、これを克服するには家庭、地域社会、学校がそれぞれ何をすべきかを考え、適切に役割を分担し、一体となって行動することが肝要であり、その中心的役割を果たしていくことこそが、当協議会にかせられた重要な使命であると確信しています。

こうしたことから、例年、当協議会では、関係機関や諸団体等の協力を得て子ども達の社会参加と自主的活動を促進し、地域に置けるリーダーを育成することを目的とした「ジュニアリーダー養成(ふる里)学習会」をはじめ、中学生が何を考え、何を求めているかを発表し合う「中学生の主張大会」など各種事業を実施しております。また、一方では、各地域青少年健全育成協議会を連絡をとりながら、「地域の子どもは地域で守り育てよう」を合言葉に、「ふるさとづくり」の取り組みや、新たな地域の健全育成組織の育成・支援を目指し事業を推進しています。

来年はいよいよ設立30周年を向かえることから、その役割を再認識し、より一層の組織の充実を図り、青少年が希望を持つ明るい「まちづくり」に向けた取り組みを推進していきます。

地域青少年協での様々な取り組み



京都府知事賞

第30回「少年の主張」 京都府大会

「十二年と私の名前」

福知山市立桃映中学校 3年 寺坂晴香

「アルバム見たいなあ・・・。」
引越して何日か経った夏休みのある日。傍にいた母は、踏んだら割れてしまう薄い氷のような表情。
「また忙しい時にね。押し入れの上にあるけえまた入れるの大変じゃし。」

本当は分かっている。アルバムを開く日はもう来ないということ。三年経った今も、決して開かれることはない、私の十二年間の思い出たち。私が湯川晴香として生まれ、過ごした時間は。

母は写真を撮るのが好きで、小さい頃はよく私と弟を並べて、黒いカメラで写してくれた。もちろん外出した時もそうで、写した沢山の写真は家中に飾られていた。どの海だったかは忘れたが、パラソルを持つ三才くらいの私は、幸せそうな笑顔がこぼれている。夏はよく、家族で海へキャンプをしに行った。海に入ったときの、自然と一体になるような優しい感覚。一晩おいたカレーを、おこげご飯のまろやかな香りからめ、溢れる星空の下で味わい、四人並んでテントに横になる。あの夏の時間は、きつと忘れないだろう。海のはたは近くのシャワーで土や汗を流す。母と二人で歩く途中、ぼつり

「キャンプなんて休べとべとするし、楽しくないわ。」
その途端、きらきらのキャンプが消えた。母さんは楽しくなかったの・・・？
「いつの間にか波の音は遠くなり、聞こえなくなりました。」

小学校中学年くらいには、もうキャンプに行かなくなっていた。それどころか、週末に外食さえしなくなりました。母はおばあちゃんに私と弟を預けて外出することが多くなり、平日はいつもいららしていた。この生活が嫌だ、変えたい、と思っていたのだらう。離婚を考えていることはなんとなく感じられた。そして六年の夏、離婚することになった。

「無理に連れて行くことはできませんけど、晴ちゃん達を連れていきたいよ。」
どつちを選ぶのも辛いのに・・・。「結局母について、今の父が居る京都に来た。広島市の小学校には親友が居て、修学旅行も目一杯楽しんで、充実した日々を過ごしていた。ここで皆と卒業したい！しかし「もう堪えら

れん、今すぐ行きたい。」母の言葉で、私は六年生のしかも二学期に、転校生になった。新しい土地で、私は黒く重い日々を過ごした。でも母は幸せそうで、よく笑うようになった。しかし過去のことを消し、何かに急ぐ母を心のどこかで感じていた。

寺坂さんと呼ばれ、名前を寺坂晴香と書く違和感。習字道具やランドセル。持ち物に湯川晴香と書いてあるのが嫌で、全て消した。私が小一の時に、苗字が変わった子がいて、その時私は、「可哀相」と感じた。しかし自分と同じ立場にたってみると、「可哀相」と思われなきやいけないうことなんてなかった。子供のせいで離婚になったわけじゃないし、どちらについていき、どう暮らすかは、自分の意志で選んだのだから。私は思う。母または父についていても、二人共が私に命をくれた大切な人なのだと。それを忘れる必要も、隠す必要も、消す必要もないのだ、と。

別れもあつたけど出会いもあり、今とても幸せだ。だけどそう思えるのは、父と母がいてくれて、この命があるからなのだ。あと五年したら、私は一人の大人になる。いきいきと社会で生きる存在になって、私は伝えたい。「お父さんを忘れてないよ。」
「湯川晴香」として生まれてくることのできて、本当に幸せでした。ありがとう。」と。

父がつけてくれた晴香という名前の「晴」という字には、めでたいという意味が込められているそうだ。きらきらのキャンプみたいなこの漢字が、私は大好きだ。苗字は変わったが、晴香のまま、私は今ここにいます。離れている父に、この命を誇りに思っていることが届くように、私はしっかり生きていきたい。



**平成20年度「明るい家庭づくり(家庭の日)」
絵画展スタート!**

平成21年 1月6日～1月8日
京都府庁旧館 NPOセンター 1

平成21年 1月10日～1月16日
京丹後市 丹後地域公民館 2

平成21年 1月27日～2月3日
長岡京市立 中央公民館 3

平成21年 2月22日～2月28日
南山城村 文化会館 4

平成21年 3月6日～3月11日
舞鶴市 中央公民館 5

平成21年 3月23日～3月29日
イオンモール 京都八ナ 6

平成20年度「明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展」表彰式
14日「明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展」6日「俳句・短歌で人とのふれあいを」

入賞者のみなさん

- 京都府知事賞●
竹澤 雅浩 長岡京市立長岡第八小学校3年
- 京都府青少年育成協会会長賞●
大前こころ 京都女子大学附属小学校6年
- 京都府教育委員会教育長賞●
田中 美緒 舞鶴市立倉梯小学校1年
- 京都市教育委員会教育長賞●
九鬼 実聡 京都市立紫野小学校4年
- 優秀賞●
吉井 杏佳 京都女子大学附属小学校1年
北野恵史郎 南山城村立南山城小学校1年
石黒 百香 長岡京市立長岡第十小学校1年
正木 聡子 木津川市立相楽台小学校2年
津村 毅 木津川市立相楽台小学校2年
今出 颯 南山城村立南山城小学校2年
藤木 裕太 和束町立和束小学校2年
長屋遼太郎 京都市立紫野小学校3年
猪飼 萌々 宇治市立北瀬島小学校3年
高木 京香 立命館小学校4年
立石 早規 宇治市立岡屋小学校4年
林 愛留 京都女子大学附属小学校5年
請川 さら 京田辺市立松井ヶ丘小学校5年
松岡 青依 京都女子大学附属小学校5年
松本 彩環 木津川市立上狛小学校6年
中尾 剛 舞鶴市立中筋小学校6年



知事賞 竹澤 雅浩
長岡京市立長岡第八小学校3年



会長賞 大前こころ
京都女子大学附属小学校6年



府教育長賞 田中 美緒
舞鶴市立倉梯小学校1年



市教育長賞 九鬼 実聡
京都市立紫野小学校4年

平成20年度「明るい家庭づくり(家庭の日)」絵画展の開催にあたり、府内小学生を対象に作品の募集を行なった結果、356点の応募がありました。

その中から審査の結果、京都府知事賞に竹澤雅浩くん(長岡京市立長岡第八小学校3年)、京都府青少年育成協会会長賞に大前こころさん(京都女子大学附属小学校6年)、京都府教育委員会教育長賞に田中美緒さん(舞鶴市立倉梯小学校1年)、京都市教育委員会教育長賞に九鬼実聡さん(京都市立紫野小学校4年)、他優秀賞に16名のみなさんが入賞され、去る12月23日、京都府立総合社会福祉会館(ハートピア京都)において表彰状が授与されました。

なお、府内において絵画展を開催します。ぜひ足をお運びいただき、子どもたちのすばらしい作品をご覧くださいませようご案内いたします。

審査委員の方々(50音順 ◎は委員長)

- 石原 綾子 京都市教育委員会学校指導課 指導主事
- 小畑 富美 子どもに残せる社会をつくる会 代表
- ◎日下部正金 京都府教育庁指導部学校教育課 指導主事
- 荒賀 正巳 京都府府民労働部青少年課 課長
- 津守 俊一 (社)京都府青少年育成協会 会長

会員団体紹介

舞鶴子ども育成支援協会

構成団体等 地域子育て支援協議会等の関係団体42・個人3
 会長 新谷喜久雄
 設立 平成15年6月28日
 事務局 〒625-8555 舞鶴市字北吸1044番地
 舞鶴市教育委員会子育て支援課内 TEL 0773-66-1094 FAX 0773-62-9897

設立の目的 少子化の進行や核家族化、共働き家庭の増加に伴い、子どもが育つ環境が大きく変化していることを踏まえ、昭和57年に設立され青少年の健全育成に取り組んできた「舞鶴市青少年育成協会」を発展的に解消し、青少年の健全育成に加え、子育て支援にも対処する組織として設立されました。

活動内容 当協会の主な活動は、協会の構成団体が行う子育て支援活動の支援と「少年の主張大会」「子ども文化劇場」「子育て研修会」の開催、「子育てについての街頭啓発活動」また「ホームページの開設」や「会報紙の発行」などです。

少年の主張大会

中学生が、日常生活の中で感じていることや考えていることを広く社会に訴える機会を設けることで、社会の一員としての自覚と行動を促し、併せて健全育成に対する市民の理解と関心を深めることを目的に開催しています。(今年度で26回目)



子ども文化劇場

幼児や小学生低学年の子どもたちに生の演劇を観せる機会を設けるために、毎年、小学校の夏期休業中の7・8月に開催しています。



子育て研修会

市民総ぐるみの子育て支援を推進するため、子育て中の親や子育て関係者を対象に開催しています。

街頭啓発活動

「地域のみんで子育て応援を」と記載したチラシを商店街のイベント時に市民に配布し、子育て支援を広く市民に呼びかけています。



ホームページの開設等

協会のホームページを開設し、行事の案内や活動報告を掲載しています。また、市内で出没する不審者情報を登録者の携帯電話に発信しています。さらに会報紙「子育て」を年1回発行しています。

会員団体紹介

京都府保護司会連合会

「防ごう犯罪と非行 助けよう立ち直り」

京都市上京区烏丸通今出川上る岡松町255
京都保護観察所内

保護司

保護司は、犯罪をした人や非行のある少年の立ち直りを地域で支えているボランティアで、法務大臣から委嘱された非常勤の国家公務員です。

その主な職務は、国家公務員である保護観察官と協働して、保護観察に付された人と面接を行い、指導や助言等を行うこと、刑務所や少年院に入っている人の帰住先の生活環境を調整すること、犯罪を予防するための啓発活動である"社会を明るくする運動"等を行っています。

現在全国で約5万人。京都府下では、約1,140名が活動しています。

保護司研修

保護司は、保護観察に付された人に対する指導等を行うため、経験年数に応じた研修をはじめ、年間6回程度実施される研修会に参加して、知識の向上や面接技法の習得等に努めています。

上記の研修会のほかに、本年度は、11月20日府下一円から約650名の保護司が一堂に会して、「ケータイ社会の子育て環境」と題する若者の携帯電話の活用の実態等を学ぶ研修会を開催し、理解を深めました。



犯罪予防活動



保護司研修

第六回「俳句・短歌で人とのふれあいを」受賞者決定

平成二十年度の高校生を対象に家庭・学校生活・地域社会をテーマに俳句・短歌を募集しましたところ、多数の応募があり、厳選な審査の結果、俳句十一句、短歌十五首の優秀作品が決定しました。



俳句の部

京都府青少年育成協会会長賞
走り込み 乱れる息と 蟬時雨
京都府立北桑田高等学校三年 下伊豆 ちひろ

京都府教育委員会教育長賞
筋雲や 祖父の背中と あばら骨
京都府立北桑田高等学校三年 佐伯 卓哉

京都府教育委員会教育長賞
夏の夜 母とほたると 帰り道
京都市立堀川高等学校二年 阪口 真耶

優秀賞

からだじゅう 太陽うけて シュートときめ
京都府立舞鶴養護学校高等部二年 尾上 泰裕

家の中 やわらかく響く 家事の音
福知山女子高等学校三年 森田 滯

夏の夜に 歌詞を覚える ビートルズ
京都府立嵯峨野高等学校二年 伊吹 博人

ひまわりが ぐんぐんのびて 青い空
京都府立舞鶴養護学校高等部二年 渡辺 美保子

メロソング しゅわしゅわしてる おどってる
京都府立舞鶴養護学校高等部二年 大沢 佳れん

自転車を こいだら自分と むきあえる
京都市立伏見工業高等学校三年 山下 司馬

緑さす 波打つ 青田におぼれゆく
京都市立堀川高等学校二年 立野 真莉恵

お父さん 寝顔 一緒だ 仕方ない
福知山女子高等学校二年 岩本 優佳

短歌の部

京都府知事賞

語り部の熱き思いを我が胸に平和を誓う沖繩の夏
京都府立須知高等学校二年 山田 陽平

京都府青少年育成協会会長賞
道端にひっそり咲いた秋桜が朝の私にエールを送る
京都府立嵯峨野高等学校一年 浅見 千秋

京都府教育委員会教育長賞

金目鯛その一声に 望みあり祖父の回復料理待つ孫
京都府立嵯峨野高等学校一年 加藤 玲奈

京都府教育委員会教育長賞

やわらかな声の行方を目をやればテレビに向かう祖父の笑む顔
京都府立北桑田高等学校三年 堀 仁美

優秀賞

松茸の香りかぐたび思い出す頑固な祖父の後ろ姿が
京都府立北桑田高等学校三年 藤原 翼

砂ぼこりまき上げ走る後ろ姿受け受けて一層速く
京都府立嵯峨野高等学校一年 河津 圭佑

水たまり映るかすかな飛行機雲空を見上げて小さく笑う
京都府立嵯峨野高等学校一年 平井 恵

たのしんでひとつになれた文化祭写真にうつるみんなの笑顔
京都府立嵯峨野高等学校三年 相川 浩己

ゆれる髪冷たいコンヤツとぎれぬ声流れる景色最後の直線
京都府立嵯峨野高等学校三年 谷口 七海

ベンケイス開けてみると宝指人それぞれで中身がちがう
京都府立嵯峨野高等学校三年 小柳 綾奈

コンクール楽譜につづる思い出は仲間と目指した金色の証
京都府立嵯峨野高等学校三年 細井 柚里

部活動いつも一緒に頑張った赤いグローブお疲れ様です
京都府立嵯峨野高等学校三年 松本 理

実習林紅葉の絨毯踏み分けて頼の汗も気にせず進む
京都府立北桑田高等学校三年 西田 一紀

あなたとのしどろもどろの英会話そっと心に留めている
京都府立北桑田高等学校二年 今井 彩香

新チーム負けばつかりの試合でもいつものように見守る母
京都市立伏見工業高等学校二年 高橋 英樹

インフォメーション

京都こども文化会館

エンゼルこども文化教室生徒募集
子どもたちの豊かな感性を育むために...

- 日時
絵画・書道教室
毎週水曜日/午後3時~5時
合唱教室(幼児)
毎週木曜日/午後3時30分~4時
(小学生以上)
毎週木曜日/午後4時10分~5時10分
- 場所 京都こども文化会館
- 対象 4歳児~中学生
- 受講料 月額3,000円
- 問合せ 京都こども文化会館
TEL 075-464-0356
FAX 075-464-0391
*見学会・体験ができますので、お気軽にお問い合わせください。



リーダーバンク通信 発行

- 発行予定 平成21年1月下旬
- 配布・設置 京都市内
- 読んでほしい
京都市内に在住及び通勤・通学している13歳~30歳

京都市内を中心に活動しているNPOやNGO、青少年が中心となって活動しているボランティアグループなどの広報を支援しています。年間6回発行し、その時々旬なボランティア募集情報を載せて情報を求めている青少年とボランティアを募集している団体・施設とを結びつけています。

- 問い合わせ先
財団法人 京都市ユースサービス協会
〒604-8147
京都市中京区東洞院通六角下ル御射山町260
京都市中京青少年活動センター内
TEL:075-213-3681
FAX:075-231-1231
E-mail:k.y.serv@kyoto.email.ne.jp
URL:http://www.ys-kyoto.org/



会員募集中 青少年の健全育成に参加しませんか!

次代を担う青少年の健全育成を図るため、「府民総ぐるみの育成運動」を進めています。この趣旨にご賛同・ご協力いただける会員を募集しています。

なお、ご加入は随時お受けいたしておりますので、京都府青少年育成協会まで御連絡ください。

- 正会員 (年額)団体3,000円
- 賛助会員 (年額)個人・団体(企業等)1口2,000円以上
- 申込先 (社)京都府青少年育成協会
TEL/075-417-0602 FAX/075-417-0603

メールマガジン「わかもの京都」発行

青少年をキーワードにタイムリーな情報をお届けします。是非、ご登録ください。(無料)

お知らせ
新着情報
(催し物・募集・施設 など)
青少年Web情報 など

登録はこちらから...

「早く読むわかもの京都のページ」
http://www.maj2.com/en/000270687.html

あなたのメールアドレスを入力、「登録」をクリックしてください。

完了

社団法人 京都府青少年育成協会
〒602-8054 京都府上京区社通通小坂町入丁字電話局 104-2 京都府庁後棟3階
TEL 075-417-0602 FAX 075-417-0603
E-mail:kyod9@kyo.or.jp URL:http://www12.kyoto.or.jp/~kyod9/

会員団体紹介



京都府立医科大学こども病棟訪問プログラム



障がいのある子ども達のための
インターショップボランティア



国際協力街頭集会

YMCAの願い

YMCAは、子ども・家族・地域社会を育み、共に支えあう社会作りを目指し、ボランティアによって運営されています。

YMCAの活動は、年齢や性別、国籍や民族、また能力の違いや宗教にかかわらず、すべての人にひらかれています。

YMCAでは活動をとおして次のことを学びます。

「自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること」

「家族、地域のひとりとして責任があること」

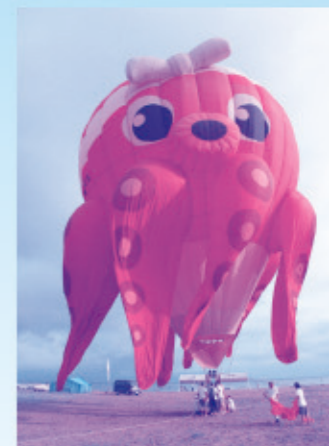
「世界と地球を見つめ、考え、行動すること」

「ボランティア精神とリーダーシップを身につけること」

「すこやかな心とからだを育むこと」



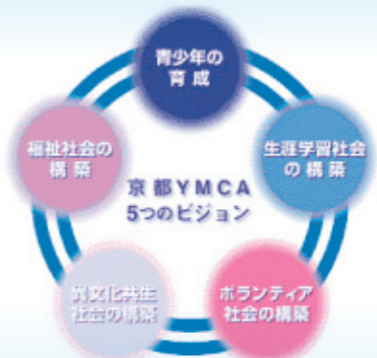
リーダー研修会



病児の子ども達のためのキャンプ
(京都YMCAワ/エキャンプ場)

YMCA (Young Men's Christian Association)は1844年ロンドンで誕生しました。現在では世界122の国と地域に組織される国際的非営利団体です。

京都YMCAは、1889(明治22)年創立し、120周年を迎えます。生涯にわたる学習、語学教育、幼児教育、野外活動、健康教育、国際理解教育、ボランティア活動等を通じて人々の精神・知性・身体の調和と発達を願い、キリストに示された愛と奉仕の生き方を分かち合うことを目的としています。



京都YMCA

理事長 佐々浪 元彦
総主事 神 崎 清一

〒604-8083
京都市中京区三条通柳馬場中之町2

TEL/075-231-4388
FAX/075-251-0970

E-mail:kyoto@ymcajapan.org
http://www.kyotoymca.or.jp

YMCAでは、これらを実現するために、「思いやり」「誠実さ」「尊敬心」「責任感」を、すべての場面で大切にしています。「青少年の育成」「生涯学習社会の構築」「福祉社会の構築」「異文化共生社会の構築」「ボランティア社会の構築」を目指し諸事業を行っています。

青少年の育成
・体験活動によって子どもたちを育てます。
・体験と研修によって学生ボランティアを育てています。

福祉社会の構築
・成人ボランティアの養成をしています。
・福祉の専門職を養成しています。

生涯学習社会の構築
・自立、自助の心で公益活動を展開しています。
・公益活動への奉仕を体験的に学びます。

異文化共生社会の構築
・世界中のネットワークを生かした国際的な地域奉仕活動を展開しています。
・人的交流を基にした長期的プログラムを展開しています。

ボランティア社会の構築
・若者を中心としたボランティア、人材養成を推進します。
・専門スタッフが研修と体験をコーディネートします。



潮騒の聞こえる宿泊施設
京都府立青少年海洋センター
マリンピア

京都府立青少年海洋センターは、未来を担う青少年が、海に親しみながら、研修と海洋活動を通じて心身を鍛え、健全な育成を図ることを目的に設置された施設です。



学校団体やスポーツ団体等の合宿から、一般の方々のサークル活動等にも利用できます。

宿泊施設

宿泊定員 225人



リーダー室 5室
1室定員5人



宿泊室 20室
1室定員10人

研修施設



講堂 約200人収容



研修室 約40人収容(2室)
約20人収容(2室)

活動施設

芝生の広場・フィールドアスレチック
 体育館・プール・ファイヤーサイトほか



大学生の剣道合宿



グラウンドゴルフ



カッター活動

★ **宿泊・食事料**

◎施設・設備等利用料は別途有料です。

	宿泊料		その他 冷暖房料 一人 200円	宿泊利用者 食 事 料	
	4～8月	9～3月		朝 食	夕 食
小学生	700円	600円		410円	
中学生	900円	800円		660円	
高校生	1,200円	1,000円		970円	
一 般	2,300円	2,000円			

※ 9月から3月までの期間は、季節料金を設定しています。

マリンピア主催事業

お申込み・お問合せ

〒626-0068

京都府宮津市字田井382

TEL 0772-22-0501 FAX 0772-22-0503

定置網体験好評につき！

チャレンジ漁業体験 特番

迫力ある定置網漁業を体験してみませんか？

対象者 2名以上のグループ
(18才以下は保護者同伴)

参加費用

小学生：6,100円 中学生：6,300円
高校生：7,600円 一 般：8,700円

募集定員15名

実施日 平成21年3月21日(土)～3月22日(日)1泊2日

募集期間 3月10日(火)～15日(日)

追加開催！



漁業体験の後は、
とれとれ魚の朝食付き
旬の魚を味わってください

りピーター也大歓迎です！！